

8-2-2 業界展望を考える若手の会

1. 委員会の開催

若手の会は、全国から主に 20～40 代前半のメンバーが集まり活動を展開している。若手の会は、月 1 回程度の会合とあわせて、他支部の若手組織との連携や業界外の異業種との連携を図っている。今年度は、定例会を 7 回、イベント 1 回の開催に加え、コンサルティングエンジニア連盟との意見交換会、土木動画コンテストへの応募、若手視点で各種 SNS による発信と発信方法についての勉強会などを行った。

2. 実績報告

(1) 建コン WILLSUMMIT (全国交流会)

本部若手の会では全国の若手組織の活動の共有・交流の場として、全国交流会(建コン WILLSUMMIT)を開催している。今年度は東北支部との共同で宮城県仙台市にて開催し、全国 9 支部 10 組織の若手組織代表者 40 名が参加した。

今回は「自然災害に対する理想の社会を描き建設コンサルタントの役割を考える」をテーマとし、近年全国的に予想外の自然災害が多発している中で、東日本大震災からの実情を学ぶことで、建設コンサルタントの仕事の意義について再認識すると共に、これからの建設コンサルタントの若手としてどうあるべきかについて議論した。また、実際の復興現場見学として石巻市震災遺構門脇小学校、石巻地区かわまちづくり事業、東松島市野蒜ヶ丘団地を視察し、東日本大震災の被害の大きさと復興の現状を実際に感じることで、建コンの自然災害に対する取り組みを考えるきっかけとなった。

交流会を通じて、「防災ツーリズム」「防災教育支援」、「復興事例フォトコンテスト開催」など、若手らしい発想が飛び交う有意義な全国交流会となった。

(2) コンサルティングエンジニア連盟との意見交換会

コンサルティングエンジニア連盟(CE 連盟)との意見交換会を昨年に引き続き開催し、建設

コンサルタント業界の社会的・経済的地位向上に向けた具体的な施策や課題議論を行った。今回の会議では、若手の会と連盟の双方が活動概要や課題認識を共有するとともに、職域代表議員の重要性、若手の政治参加などについて意見を交わした。

特に、「職域代表議員の役割」「政治と建コンの仕事の関係性」や、「政治の自分ゴト化」について活発な議論が展開された。

(3) 土木動画コンテストへの応募と入賞

建コンの魅力を広く伝えるということを目的に「NPO 法人 あすの夢土木」主催の「今、バズる土木動画コンテスト」に動画を応募し、応募総数 22 作品の中から最優秀賞を受賞した。

同コンテストは「土木の魅力を伝えよう」を動画テーマとし、社会インフラの重要性や土木の魅力を広く発信するため、初めて開催されたものである。若手の会が作成した動画のタイトルは「もしも土木がなかったら」で、『土木』が身近にあり生活を支えていること、それがもしなかったら生活はどうなるのかということをコミカルに分かりやすく表現した。動画は約 1.7 万回再生された。今後も若手ならではの視点での動画作成を通じて、業界 PR につなげたい。

3. 次年度の活動について

今年度は、若手の会設立後 10 年の節目の年であり、従来からの「業界活性化の一大ムーブメントを興す」というミッションの思想はそのままに新体制で活動を開始し、新たなアプローチによる認知度向上や、SNS の活用の推進、防災ツアーの企画等のプロジェクトを推進している。

また次年度以降は、これまでの専門委員会から委員会に昇格するため、協会各支部や業界内外とのネットワークを活用しながら、新たなフェーズに向けて、活動を加速していく予定である。

(業界展望を考える若手の会委員長

横尾 拓)